

# 災害用設備 パッケージ販売

LPガス販売のエネシン（浜松市中区）は、ガスを貯槽するバルク（タンク）と炊き出しステーションなどをセットにした災害用パッケージの販売を始めた。災害時に避難所やボランティアの拠点として使われる施設への普及を目指す。

パッケージは、三百キロを貯槽できるバルクのほか、炊き出し用のコンロなどを備えたステーション、ガス発電機、暖房機で構成。満タンでこれらを最大百十五時間

## 導入初に寺の浜松 エネシン



利用できる。価格は税抜き百十四万六千円で、それぞれ単独で購入するより一〜二割ほど安い。中区の瑞生寺に初めて導入された。左右田泰丈住職（五巴）は二〇一

な左右田泰丈住職は二〇一

一年の東日本大震災の際、曹洞宗の県第四宗務所のメンバーとして宮城県気仙沼市の被災地を支援。寺が避難所の役割を果たしていることを知り、本堂の屋根を軽くしたり境内に井戸を設けたりした。

さらに安全な寺にするためパッケージを採用した。左右田さんは「いざれ浜松でも巨大地震が起きるかもしれない。受け入れられる環境を整備しておきたい」と語った。エネシンリテール営業推進課の田島好礼係長は「最低限だが、災害時に必要な設備をそろえた」と話した。（木造康博）